

例年よりも寒さが厳しく感じられる今年の冬です。少しずつインフルエンザ流行の情報が出始めて、児童生徒はもちろんですが大人も体調管理には十分気をつけていきたいと感じているところです。さて、今月は12月5日(火)に行われました、東根一中矢萩先生の委嘱研究の様子を中心にお知らせしたいと思います。

ICT活用授業研究会レポート(最終回)



教科：社会科
 単元名：日本の諸地域 中部地方
 ～観光大使になって県の魅力をPRしよう～
 授業者：矢萩 健 教諭
 使用機器：タブレット、大型TV、appleTV
 教室には appleTV とつながれた大型テレビが設置されています。また、グループには1台のタブレット(iPad)が配られており、スタンバイばっちりのようです。授業が始まり、中部地方の各県の魅力について、生徒自身の視点で調べた内容を順に発表していきます。

今回の授業では、タブレットに各県の特徴や魅力をしめす写真データがまとめられており、発表内容に合わせて、写真を大型テレビに提示していきます。appleTV(無線でタブレットの内容をモニターに提示できる機器)を使用することで、左の写真のようにテレビモニターから離れていても提示ができます。また、タブレットを使って発表することで、発表場所への生徒の移動がなくて、時間のロスがないスムーズな発表ができていました。(タブレットの機動力を生かした発表です)
 生徒がタブレットを操作して発表する経験はまだまだ浅いということですが、操作に慣れているように感じました。実は、この発表の前にもiPadの優れた機能を使っていることを矢萩先生に教えていただきました。それは、スクリーンショットとAirDropという機能です。

①スクリーンショット(タブレットの画面をそのまま画像データにする機能)



ネットで調べた魅力に関する画像をスクリーンショットでデータ化し、すぐに発表資料として使えます。※このとき注意したいのは、ネットに掲載されている画像やデータ等に関する著作権の扱いですが、営利を目的とせず、授業内でのみ利用し、また、著作者に不利益にならないのであれば利用可能だそうです。(詳しくは著作権法第32条、第35条、第36条、第38条を参考にしてください。)

②AirDrop機能(タブレット内に保存されている画像等を他のタブレットと共有する)



iPadの写真をみると左下へのマークが表示されます。このマークを押すとAirDropの表示が確認できます。しばらくすると、ここに画像等を共有できるiPadが表示されます。画像を送るiPadをえらんで送信すれば簡単にデータを共有できます。矢萩先生は今回、この機能を使って個別にタブレットで調べ収集した画像を、班の発表用iPadに転送共有して活用したということです。(ただし、この機能を使うにはiPadが同じネットワーク内にあること、AirDropの受信を「すべての人」に設定しておく必要もあります。)

事後研では、iPadの基本的な機能を使って活用する授業提案したかったという話があり、まさに明日にでも授業に生かせる内容だったと思います。タブレットを使って調べることで意欲的に調べ学習に取り組み、プレゼン力も育成できる素晴らしい活用だったと思います。ぜひ、先生方もタブレットを有効に活用して、楽しくわかる授業づくりをしてみましょ。

*** 今月の機材教材紹介 *** データ復元ソフト「完全復元 PRO15」



「あれ?USB内のデータが見られない!!」「大事な画像を間違って削除してしまった!!」なんてことはありませんか?パソコンデータ消失等で困っている先生方のために、視聴覚センターにはデータ復元ソフト「完全復元 PRO15」を用意してあります。つい先日も、外付けHDD内が見えなくなってしまった...という問合せがありました。で、このソフトで開いてみるとなんと「データが数分で完全復元!」していました。もしもの時に、ぜひお問い合わせください。※必ず損失データが復活するとは限りませんので、ご了承ください。

1月の移動学習予定

お待ちしております!!

17日 福原小特別支援学級	19日 小田島小4年生	29日 長瀬小4年生
18日 大富小4年1組	23日 戸沢小3年生	30日 大石田小4年生
大富小4年2組		